

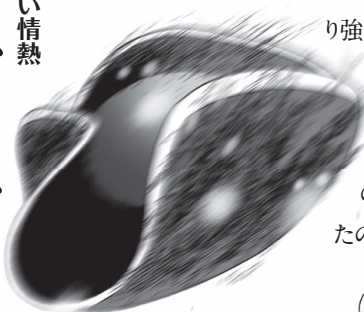
B  
2025  
FEBRUARY  
[第2032回]  
👁️👁️

天才作曲家が描く暗い情熱

# ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト

Wolfgang Amadeus Mozart (1756-1791)

神童として早くから音楽の才能を発揮していたモーツァルト。故郷ザルツブルクに留まることなく、各地を旅してその才をさらに羽ばたかせてゆき、17歳になるころには、すでに交響曲をいくつも作っていた。そしてときは18世紀後半、ゲーテを中心として、人間の感情をより強調するような疾風怒濤（シュトルム・ウント・ドランク）の文学運動がおこった時代。モーツァルトも音楽の世界で、嵐のような暗い情熱を描こうとしたのだろうか。



モーツァルトの心情と呼応するように  
吹きさす風と雪が帽子をさらう―  
イラストレーション: CIKE

## 短調の交響曲

冒頭から切迫したリズムと不穏な響きで緊張感ただよう《交響曲第25番》は、当時の交響曲としてはめずらしく短調で書かれている。モーツァルトが主人公の映画『アマデウス』（1984年）のテーマ曲としても有名だ。ドラマティックなメロディが疾走するような第1楽章、長調なのになぜか不安がつきまとう第2楽章など、動と静のコントラストも楽しみたい。

